

令和7年度浜松市防災会議 議事録

1 開催日時 令和7年12月25日(木) 午後2時から午後3時まで

2 開催場所 浜松市役所 本館5階 庁議室 (WEB会議を併用)

3 出席状況

(1) 会長及び委員

区分	機関名等	職名等	氏名	出欠
会長	浜松市	市長	中野 祐介	出席
委員	中部地方整備局 浜松河川国道事務所	事務所長	白井 宏明	欠席
委員	関東森林管理局 天竜森林管理署	署長	吉松 重記	出席
委員	静岡県西部地域局	副局長兼 西部危機管理監	森西 洋之	出席
委員	静岡県浜松土木事務所	所長	市野 智一	出席
委員	静岡県西部農林事務所	所長	多米 和彦	出席
委員	静岡県警察浜松市警察部	部長	森 正晴	出席
委員	浜松市消防団	消防団長	浅野 哲司	出席
委員	浜松市水防団	団長	佐野 勝	出席
委員	NTT西日本株式会社静岡支店	静岡支店長	番匠 俊行	欠席
委員	中部電力パワーグリッド 株式会社浜松支社	支社長	田中 知訓	出席
委員	電源開発株式会社 中部支店佐久間電力所	所長	目黒 史男	出席
委員	サーラエナジー株式会社 浜松供給センター	所長	刑部 正比呂	出席
委員	一般社団法人静岡県LPガス 協会西部支部	支部長	名倉 政隆	出席
委員	東海旅客鉄道株式会社 浜松駅	駅長	小笹 晃之	出席
委員	天竜浜名湖鉄道株式会社	常務取締役	山岡 広幸	欠席
委員	遠州鉄道株式会社	取締役 運輸事業本部長	高林 宏明	欠席

委員	日本放送協会 静岡放送局	局長	二宮 徹	出席(WEB)
委員	株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社 浜松総局	執行役員浜松総局長	石川 善太郎	出席
委員	一般社団法人静岡県トラック 協会西部支部	支部長	村松 正巳	出席
委員	公益社団法人静岡県看護協会 西部地区支部	副支部長	松岡 陽子	出席(WEB)
委員	一般社団法人浜松市医師会	副会長	幸田 隆彦	出席(WEB)
委員	一般社団法人浜松市歯科医師会	副会長	戸田 聖二	出席
委員	一般社団法人浜松市薬剤師会	副会長	清水 慎也	出席
委員	浜松市自主防災隊連合会	会長	小名木 秀雄	出席
委員	浜名漁業協同組合	代表理事組合長	渥美 敏	出席
委員	一般社団法人浜松建設業協会	会長	中村 嘉宏	出席
委員	浜松市災害ボランティア 連絡会	代表	國井 良子	出席
委員	浜松男女共同参画推進協会	監事	井出 あゆみ	出席
委員	浜松の企業が手をつなぐ 災害支援ネットワーク (はままつ nanet)	事務局長	鈴木 まり子	出席(WEB)
委員	社会福祉法人浜松市社会福祉 協議会	事務局長	岩崎 英浩	出席
委員	陸上自衛隊第34普通科連隊 第4中隊	中隊長	三浦 宏之	出席
委員	浜松市	副市長	内藤 伸二郎	出席
委員	浜松市	教育長	野秋 愛美	出席
委員	浜松市	土木部長	平井 親一	出席
委員	浜松市	消防長	那須田 育生	出席

(2) 事務局

浜松市	危機管理監	清水 克
浜松市	危機管理課長	小林 正人
浜松市	危機管理課長補佐	吉垣 幸和
浜松市	危機管理課 防災調整官	小林 靖幸
浜松市	危機管理課 計画調整グループ長	中島 文子
浜松市	危機管理課 計画調整グループ	鈴木 清光
浜松市		石野 勇樹
浜松市		橋村 晃典

4 傍 聴 者 5人（一般：2人、記者：3人）

5 議 事 内 容 審議の内容

浜松市地域防災計画の改定（案）について
審議の結果
原案のとおり可決された。

6 会議資料の名称

- 資料1：浜松市地域防災計画の改定（案）について
- 資料2：浜松市地域防災計画 新旧対照表
- 資料3：浜松市地域防災計画 修正（案）
- 資料4：「令和6年能登半島地震被災地支援派遣からの教訓」の進捗状況
- 資料5：令和7年7月30日カムチャツカ半島付近の地震による津波警報の対応の点検結果
- 資料6：浜松市内6警察署災害対策担当者会議の開催について
- 資料7：浜松市水防団の活動報告
- 資料8：浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク はままつ nanet 活動紹介
- 資料9：令和8年度天竜川下流連合水防演習の開催について
- 資料10：広域物資輸送訓練について
- 資料11：令和6年度浜松市遺体措置訓練について
- 資料12：浜松市道路啓開訓練について

7 議事録作成者 危機管理課 計画調整グループ 石野 勇樹

8 記録の方法 発言者の要点記録（録音の有無：無）

9 発 言 内 容

1 開会

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

本日の会議は、浜松市防災会議運営要綱第2条第2項に定める、委員の出席要件を満たしているので、会議が成立することを報告する。

2 会長（市長）あいさつ

3 議事 浜松市地域防災計画の改定（案）について

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

本会議は運営要綱第2条第1項の規定により、会長が議長となる。

【議長(会長)：浜松市長 中野 祐介】

議事に入る前に、当会議の運営要綱第6条に基づく議事録署名人に、一般社団法人

人静岡県LPガス協会西部支部の名倉政隆委員と陸上自衛隊第34普通科連隊第4中隊の三浦宏之委員を指名する。

「浜松市地域防災計画の改定(案)について」を議題とする。事務局から説明を。

【事務局：危機管理課長 小林 正人】

(資料1、資料2に基づき説明)

【議長(会長)：浜松市長 中野 祐介】

説明に対して質問、意見等があれば何う。

(質問等なし)

【議長(会長)：浜松市長 中野 祐介】

質問、意見等がないので、お諮りする。浜松市地域防災計画の改定案について、原案のとおり可決することに異議ないか。

(異議なし)

【議長(会長)：浜松市長 中野 祐介】

異議なしのため、原案のとおり可決とし、災害対策基本法第42条第5項の規定により、計画の修正を県知事に報告する。

以上で、本日本日予定していた議事は全て終了した。

ここで、事務局から、地域防災計画について連絡事項がある。

【事務局：危機管理課長 小林 正人】

地域防災計画のさらなる実行性の確保や各団体との連携強化を目指すため、来年度から、計画内容に係るテーマを選定し、半年程度かけて、そのテーマに関係する委員の団体と協議を重ね、計画又は各種マニュアルに反映していきたいと考えている。ついては、1月から3月にかけてテーマの募集や意見を伺うため、協力いただきたい。

【議長(会長)：浜松市長 中野 祐介】

進行を事務局にお返しする。

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

ただいま結審いただいた「浜松市地域防災計画」は、令和8年4月から運用を開始する。

4 その他

(1) 「令和6年能登半島地震被災地支援派遣からの教訓」の進捗（浜松市）

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

浜松市危機管理課から報告する。

【事務局：危機管理課長 小林 正人】

（資料4に基づき報告）

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

報告に対して質問等があれば伺う。

（質問等なし）

(2) カムチャツカ半島付近の地震による津波警報の対応報告（浜松市）

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

浜松市危機管理課から報告する。

【事務局：危機管理課 防災調整官 小林 靖幸】

（資料5に基づき報告）

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

報告に対して質問等があれば伺う。

（質問等なし）

(3) 関係機関における取組の事例紹介

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

7機関から話題提供をいただく。

【静岡県警察 浜松市警察部 森 正晴 委員】

（資料6に基づき報告）

【浜松市水防団 佐野 勝 委員】

（資料7に基づき報告）

【浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク（はままつ nanet） 鈴木 まり子 委員】

（資料8に基づき報告）

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

中部地方整備局 浜松河川国道事務所、一般社団法人静岡県トラック協会 西部支

部、一般社団法人浜松市歯科医師会、一般社団法人浜松建設業協会については、資料の紹介のみとさせていただきます。資料9から12をご確認いただきたい。

報告に対して質問等があれば伺う。

【浜松男女共同参画推進協会 井出 あゆみ 委員】

浜松市水防団の報告の中で、「線状降水帯」という言葉があったが、これは地域防災計画の中にあまり見当たらない。線状降水帯について、地域防災計画での方針は決まっているか。

また、線状降水帯は、市内に年間何回くらい発生するものか。

【事務局：危機管理課長 小林 正人】

線状降水帯は、地域防災計画に明確な記載はない。

記録的短時間大雨情報等の気象情報を使って避難情報を出している。線状降水帯は予測が難しいものであり、発生する頃にはすでに大雨のため避難情報を発令していることが多い。

発生回数については、ここ数年の傾向では年1回あるかないか程度。

【株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社 浜松総局 石川 善太郎 委員】

令和8年5月に新たな防災気象情報の運用が始まるが、これに連動して、市の計画で検討していることはあるか。

【事務局：危機管理課長 小林 正人】

新たな防災気象情報の運用は、気象庁が、令和8年の出水期に向けて、5段階の警戒レベルと防災気象情報を整合させるために行っているものである。

年明けに、気象庁から市に対して、各気象情報がどのような基準で発表されるか説明がある。これを受けて、出水期前までに、地域防災計画の一部修正や市民周知をする。

5 閉会

【事務局：危機管理課長補佐 吉垣 幸和】

以上で、本日予定していた内容は全て終了した。

最後に、事務局から連絡事項がある。本市の「附属機関の設置及び運営に関する基本方針」では、委員に占める女性の割合は、40%以上60%以下とする基準がある。異動等に伴い、本会議の委員を変更する際は、役職に囚われることなく、積極的に女性を登用していただきたい。

以上をもって「令和7年度浜松市防災会議」を終了する。

署名

令和7年12月25日に開催された令和7年度浜松市防災会議の議事録について、上記のとおり間違いがないことを確認した。

会長 浜松市長

中野 祐介

委員 一般社団法人静岡県LPガス協会 西部支部
支部長

名倉政隆

委員 陸上自衛隊 第34普通科連隊 第4中隊
中隊長

三浦 宏之